



医療・保健・福祉の地域拠点として期待

新八鹿病院 第1期工事（病棟部分）が完成

公立八鹿病院は、昭和21年の開設以来、地域医療の拠点として運営されてきました。これまで増改築を重ねて施設の充実強化を図ってきましたが、施設の老朽化や外来診療施設が不足するなど問題が生じていました。

これらを解消し、地域医療の拠点施設としてより一層の役割りを果たすため、平成14年6月に新病院の建設に着手してまいりました。このたび、第1期工事が完成し、病棟部分が昨年12月25日から供用開始されましたので施設概要等をお知らせします。

1期工事で病棟部分が完成 外来施設、手術棟等は平成18年秋に完成予定

八鹿病院は昭和34年以降、

施設の増改築や最新の医療機器の導入、医療スタッフの充実など中核病院として機能の充実強化を行ってきました。しかし、多くの施設が建設後40年近く経過し、老朽化が進むなど患者さんの療養環境が低下してまいりました。

新八鹿病院は、これらの問題を解消し、医療・保健・福祉の拠点施設として住民の医療ニーズに応え、安心して療養ができる病院を目指して建

設されたものです。

このたび完成した第1期工事では、病棟や薬局、総合リハビリ施設を整備し、昨年の12月25日から供用を開始しました。

手術棟や検査棟、外来施設は4月に着工予定の第2期工事で建設し、平成18年秋に完成する予定。引き続き旧病院を解体した跡地に駐車場を整備され、平成19年8月にはすべての施設が完成する予定です。

◎外来が一部移転します

- ▼仮設外来棟に移転する箇所
- Ⅱ内科・皮膚科・歯科
- ▼新病院内に移転する箇所
- Ⅱ脳外科・整形外科・外科・泌尿器科・胃腸科
- ▼旧病棟（2病棟・3病棟）を使用する箇所
- Ⅱ小児科・産婦人科・麻酔科・精神神経科
- ▼移転しない箇所
- Ⅱ眼科・神経内科・耳鼻咽喉科・放射線科



西南但馬地方の中核病院として運用される新八鹿病院